

# 赤星

月刊

4月2005年 No.44 (通巻386号)

本号300円

年間購読料 1部3000円 (送料別) (送料) 密封1000円 開封800円

THE SEKISEI (RED STAR/ROTE STERN)

編集 共産主義者同盟 (DER BUND DER KOMMUNISTEN)

発行所 蜂起社 東京都江東区大島3-9-25/TEL 03-5626-8262

発行人 南 安明 <振替> 00120-2-1512 蜂起社・南安明

紙面案内

- ① 反占領! 反排除! 抵抗!
- ②-③ プロレタリア観の新たなパラダイム
- ③ 反戦行動/4・23名古屋へ
- ④ 沖縄/三里塚/狭山/反弾圧

お知らせ 次号は5月中旬発行です。

## Anti-Globalism!

### 「持たざる者」の国境を越えた連帯を!

# 反占領! 反排除! 抵抗!



3月19日、イラク反戦世界同時行動を闘う

(東京日比谷野音集会からデモ行進へ)

### 3・19全世界でイラク反戦行動

アメリカなどによるイラク侵略戦争(03年3・20開戦)から2周年にあたる3月19-20日、イラク反戦世界同時行動が闘われ、「イラクから占領軍は直ちに撤兵しろ!」「戦争は、もうたくさんだ!」という声が全世界で日本各地であげられた。

3月19日、東京日比谷野音での反戦集会をデモには約4千5百人が集まった。

山谷争奪団、笹島・寿の日雇全協、争団連、ACA、反戦闘争実とともにより我々は独自集会を開催、イラクから自衛隊など全ての占領軍は撤兵しろ!イラク・パレスチナの占領を終わらせよう!パレスチナに自由を!辺野古の米軍新基地建設を阻止する!沖縄民衆に連帯して日米安保を粉砕しよう!とシュプレヒコールをあげデモを行った。

ロンドンでの戦争阻止連合主催の集会には15万人、ニューヨークのANSWERなどが呼びかけた集会に2万人、韓国ソウルの派兵反対国民行動の集会に3千人など、世界各国で即時撤兵を訴えるイラク反戦行動が闘われたのである。

米フッシュ政権が、イラクに侵略戦争をしかけたために、「大量破壊兵器の脅威」や「9・11テロ事件」へのフセイン政権の関与といった虚構(偽り)をねつ造することによって世界を欺いたことは、今や誰の目にも明らかになった。そして、開戦から2周年を経た今日、イラク占領政策をめぐる失敗をまかすこと、

イラクでの国民議会選挙やレバノンでのシリア軍撤退を求める民衆の動き(註)や、パレスチナ「和平」交渉の演出など、全く異なる動きを「中東民主化」という言葉でひとくくりにすることによって、破綻に瀕した中東政策および外交政策全般の取り繕いを図っている。

〈註〉レバノンで3月14日、前首相ハリリが暗殺されたことを契機に、民衆の反シリア感情に火がつき、シリア軍はレバノンからの全面撤退を余儀なくされた。レバノン駐留のシリア軍は、レバノン内戦(75-90年)発生直後の76年に内戦終結を名目に「アラブ平和維持軍」として進駐した。だが実際は、パレスチナ解放勢力の台頭を防止することが目的で、米国とイスラエルの了解を得ていた。内戦終結後もレバノンにおける権益を維持するため駐留を続けているが、内外の圧力で撤退を迫られたのである。

「パレスチナ問題」の本質を見えなくしているメデアのロジックとしてよく用いられているのが「暴力の応酬」であったり「暴力の連鎖」である。しかも、パレスチナ人の「テロ」を非難する圧力は大きく、イスラエルの占領を非難する声は小さい。イスラエルの占領によって生存権さえ奪われ「まるで収容所の中で生きている」と言う他ない屈辱に心をさいなまれているパレスチナの人々の窮状に、事実上、世界は傍観してきた。それは、つまるるところ、パレスチナの抵抗を「テロ」としてあらゆる手段(暗殺、逮捕・拷問、家屋や農地の破壊、封鎖、土地収奪など)を講じた「アパルトヘイト(人種隔離政策)に等しい」迫害を正当化するイスラエルの占領-植民地政策に与すること、「共犯」関係にあることを意味してはいないか。

「暴力の応酬」ではなく「占領による迫害」と「解放への抵抗」の応酬である。「暴力の連鎖」ではなく世界の(私たちの)「傍観の連鎖」こそ断ち切らねばならない問題なのだ。絶望の淵に立たされながらも「死ぬまでここを動かさない」と訴えるパレスチナの人々は、心の底から私たちに連帯を求めている。希望に飢えている。私たちに絶望したり諦めたりする資格はない。占領からの解放と自由を求め続けてきたパレスチナの人々は、いま切実に国際的な支援と草の根の連帯を必要としている。

### 反日行動高まる 中国・韓国

4月9日、北京で1万人、10日、広州・深圳で3万人など中国で拡大する反日デモは、韓国での反日行動と連動している。しかも中国と韓国の反日世論の背景には、釣魚台(中国)や独島(韓国)の領有権、歴史教科書の歪曲、日本の国連安保理常任理事国入りへの反対など、共通している。

為政者の愚感を越えて一度燃え上がった民衆の怒りを抑え込むことは難しいであろう。北京で繰り広げられた反日デモには、出稼き労働者に加わり、89年の天安門事件以来、治安当局に抑え込まれてきた民衆の政治行動が、これを弾みにして勢いづく可能性も出てきた。今後も歴史問題を契機に反日運動が中国社会の底辺にマツマのように蓄積された現状批判のエネルギーと結びついて中国全土に拡大していくことが予想される。

島根県による「竹島の日」制定を糾弾して韓国の新聞は「友情の年は、もはや裏切りの年になった」と(ハンギョレ)と断じた。「戦争を記憶する文化」を戦後のテーマとして培ってきたドイツの新聞は「中国の怒りが爆発したのは、首相の靖国神社参拝など日本が長年、侵略された隣人の感情を傷付けているからだ」(4・11付南ドイツ紙)と指摘。日本が侵略の歴史に対する責任を負わず正当化する誤った態度を続ける限り、アジア民衆の怒りを買いはかりだ。



# 3・19 日雇全協先頭に日比谷で共闘集会 反戦世界同時行動に立つ



15万人が参加したロンドンの反戦デモ (ロイター)

イラク侵略戦争(03年3月20日開戦)から2周年、全世界同時反戦行動が闘われた。アメリカでは数百万の地域で二斉に集会・デモが行われ、欧州からアジアまで、各国の主要都市を中心に「イラクから占領軍は直ちに退けよ」「戦争はもうたくさんだ」「戦争の怒りの声が上がった」。

東京では3月19日、ワールドピースナウの呼びかけで「終わらせようイラク占領、撤退させよう自衛隊」の集会が日比谷野外音楽堂で開催され、会場の内外を合わせて約4500人が結集した。

年々、名古屋の地から多くの仲間が結集した。昨日は1・24名古屋・白川公園における強制排除への弾劾を表明するとともに、4・23名古屋の全国集会への結集を呼びかけた。続いて春日野、渋谷のじれん、山谷会館活動委員会から、それぞれ闘いの報告と提起がなされた。

連帯のアピールは、立川テント村から反戦ビラ弾圧の裁判控訴審判への支援を、沖繩一坪反戦地主会・関東ブロックから沖繩・辺野古の新基地建設阻止の闘いの支援と4・16集会への結集を、日韓ネットからの反FTA闘争と日韓連帯の闘いに寄せられた。アジア共同行動日本連からは、本日開催の闘いに寄せられたアメリカANSWERの連帯メッセージが読み上げられた。

集会はさらに、戦争抵抗者の会、ACA、反戦闘争実、争議団連絡会議、地域共闘交流会と、現場共闘に結集した各団体から気迫のこもったアピールがなされた。日比谷野音の集会も終了しデモが始まる。現場共闘の100余名の隊列は「占領STOP! 自衛隊撤去せよ!」の大横断幕を先頭に、「戦争はもうたくさんだ」「排除をやめろ」「国境を越えた連帯で闘うぞ」など力強いシュプレヒコールを上げてデモに出発。銀座から東京駅、解散地点の常盤橋公園まで熱気あふれるデモを貫徹し、沿道の人々に訴えた。この3月19日、20日の両日にかけては全国各地で反戦行動が闘われた。

3・19現場共闘の地帯を打ち固め、反戦・反グローバリズムのインターナショナルな連帯を推し進めていく。台頭する排外主義闘争を打ち砕き、自衛隊の恒常的派兵を許さず、改憲に向けた国民投票法制定を阻止しよう。

4・30反戦闘争主催の安粉砕・沖繩連帯集会・デモ(午後1時30分・渋谷労働福祉会館)を成功させよう!

「この大横断幕を先頭に、」の結集を、日韓ネットからの反FTA闘争と日韓連帯の闘いに寄せられた。アジア共同行動日本連からは、本日開催の闘いに寄せられた。アメリカANSWERの連帯メッセージが読み上げられた。

集会はさらに、戦争抵抗者の会、ACA、反戦闘争実、争議団連絡会議、地域共闘交流会と、現場共闘に結集した各団体から気迫のこもったアピールがなされた。

日比谷野音の集会も終了しデモが始まる。現場共闘の100余名の隊列は「占領STOP! 自衛隊撤去せよ!」の大横断幕を先頭に、「戦争はもうたくさんだ」「排除をやめろ」「国境を越えた連帯で闘うぞ」など力強いシュプレヒコールを上げてデモに出発。

銀座から東京駅、解散地点の常盤橋公園まで熱気あふれるデモを貫徹し、沿道の人々に訴えた。この3月19日、20日の両日にかけては全国各地で反戦行動が闘われた。

## 4・23 反排除の全国共同闘争へ 名古屋に結集を!

4月23日、名古屋において「野音者連立」で「排除を許さない全国集会」が開催される。この取り組みは、この1月24日、名古屋・白川公園で強行された強制排除(7人の野音者のテントが強制撤去された)に対する抗議と、全国各地で高まる排除の圧力に抗する全国的な共同闘争の構築に向け、さらに就労の場からの排除など社会的排除と対決する運動の拡大・社会化への大きな一歩として準備されている(呼びかけ・倍島連絡会、倍島キリスト教連絡会、ホームレス法的支援「栄・希望の泉」集合)。

東京においては、都知事・石原が野音者の排除・しめ出し(都立公園条例改悪)を自論している。今春の都議会では見送られたものの、その姿勢は変わらない。すでに各公園では、「地域支援移行事業」の進行とともに「公園適正化」を名目とした排除の動きが着実に強まっている。あらゆる排除を許さず、「仕事よこせ」の大衆行動の前進を!

4・23全国から名古屋に結集しよう! 5・1野音労働者ミーティング(正午、新宿柏木公園)を全都の力で勝ち取ろう!

「21世紀のプロレタリア解放運動―共産主義運動は、反グローバリズム運動を新たなモーメント(契機・拠り所)にしてこそ、ポスト「冷戦」時代に次のステップを踏み出すことが可能になる。では、反グローバリズム運動とは何か、どのようなビジョン(構想)とポリシー(戦略)によって創り出されるのか。」

反グローバリズム運動とは、一言でいえば、「現代社会の最下層であるプロレタリア」(マルクス)を、すなわち、今日、グローバリズムの現状を少しでも変えたいと願う人たちの欲心を自己を脅かされ社会の底辺に虐げられた「持たざる者」と国境を越えて連帯志向とも一線を画す。抵抗する新しい(タイプ)の「ラディカルなインターナショナルなポリシー」をも

「21世紀のプロレタリア解放運動―共産主義運動は、反グローバリズム運動を新たなモーメント(契機・拠り所)にしてこそ、ポスト「冷戦」時代に次のステップを踏み出すことが可能になる。では、反グローバリズム運動とは何か、どのようなビジョン(構想)とポリシー(戦略)によって創り出されるのか。」

反グローバリズム運動とは、一言でいえば、「現代社会の最下層であるプロレタリア」(マルクス)を、すなわち、今日、グローバリズムの現状を少しでも変えたいと願う人たちの欲心を自己を脅かされ社会の底辺に虐げられた「持たざる者」と国境を越えて連帯志向とも一線を画す。抵抗する新しい(タイプ)の「ラディカルなインターナショナルなポリシー」をも

「21世紀のプロレタリア解放運動―共産主義運動は、反グローバリズム運動を新たなモーメント(契機・拠り所)にしてこそ、ポスト「冷戦」時代に次のステップを踏み出すことが可能になる。では、反グローバリズム運動とは何か、どのようなビジョン(構想)とポリシー(戦略)によって創り出されるのか。」

「この大横断幕を先頭に、」の結集を、日韓ネットからの反FTA闘争と日韓連帯の闘いに寄せられた。アジア共同行動日本連からは、本日開催の闘いに寄せられた。アメリカANSWERの連帯メッセージが読み上げられた。

集会はさらに、戦争抵抗者の会、ACA、反戦闘争実、争議団連絡会議、地域共闘交流会と、現場共闘に結集した各団体から気迫のこもったアピールがなされた。

日比谷野音の集会も終了しデモが始まる。現場共闘の100余名の隊列は「占領STOP! 自衛隊撤去せよ!」の大横断幕を先頭に、「戦争はもうたくさんだ」「排除をやめろ」「国境を越えた連帯で闘うぞ」など力強いシュプレヒコールを上げてデモに出発。

銀座から東京駅、解散地点の常盤橋公園まで熱気あふれるデモを貫徹し、沿道の人々に訴えた。この3月19日、20日の両日にかけては全国各地で反戦行動が闘われた。

4・30反戦闘争主催の安粉砕・沖繩連帯集会・デモ(午後1時30分・渋谷労働福祉会館)を成功させよう!

「この大横断幕を先頭に、」の結集を、日韓ネットからの反FTA闘争と日韓連帯の闘いに寄せられた。アジア共同行動日本連からは、本日開催の闘いに寄せられた。アメリカANSWERの連帯メッセージが読み上げられた。

集会はさらに、戦争抵抗者の会、ACA、反戦闘争実、争議団連絡会議、地域共闘交流会と、現場共闘に結集した各団体から気迫のこもったアピールがなされた。

日比谷野音の集会も終了しデモが始まる。現場共闘の100余名の隊列は「占領STOP! 自衛隊撤去せよ!」の大横断幕を先頭に、「戦争はもうたくさんだ」「排除をやめろ」「国境を越えた連帯で闘うぞ」など力強いシュプレヒコールを上げてデモに出発。

銀座から東京駅、解散地点の常盤橋公園まで熱気あふれるデモを貫徹し、沿道の人々に訴えた。この3月19日、20日の両日にかけては全国各地で反戦行動が闘われた。

# 5・15普天間基地包囲・沖縄闘争へ!



辺野古沖の海上でボーリング調査のために設置されたやぐらに張り付けて着工を阻止する(4・16集会ピラより)。

**海上新基地建設阻む 辺野古の闘いが1カ年**

沖繩・辺野古の海上新基地建設を阻む闘いはこの4月16日、1カ年を迎える。座り込みは連日、1日も休まず継続し、11月以降は、ボーリング調査の着工を事実上阻止する海上での攻防が連日展開され、防衛施設庁の目論みは完全に頓挫、海上基地建設は困難であり、見直さざるを得ない(3月17日には小泉が参院予算委員会代替地の検討を明言した)と確信に迫りつつある。

同時に、昨年8月の普天間基地からの米軍大型ヘリ墜落事故で沖縄民衆の怒りは3万人集会(9月12日)に結びつき、「安保も基地もいらない」沖縄の叫びは、日米政府を揺るがせているのだ。この5月15日には、昨年引き続き普天間基地包圍「人間の鎖」行動が準備されている。普天間基地撤去・海上新基地建設阻止の勝利へ向け、5・15沖縄闘いの結果しよう!

3月25日、沖縄・宮古郡の伊良部町議会は地元の下地島空港への自衛隊誘致を白紙撤回する決議を賛成16反対1の大差で可決した。これは3月16日に可決された誘致決議(賛成9・反対8)に対して、住民をないがしろにした誘致は許さないとの高まる反対運動が盛り上がり、3月21日には1200人が参加して抗議集会が、さらに24日には全町民の半数の3500人が説明会に参加して、反対の声を殺した。そして、開

催された臨時議会で白紙撤回させたのである。

自衛隊誘致は米軍との共同使用に道を拓くと、空港の軍事使用にNOを叩きつけた伊良部町の闘いは、基地のたらい回しを企む動きをSTOPさせた画期的なものだ。その一方で、普天間基地を自衛隊へ移管させる案が浮上していることが3月28日に報道された。基地移設問題が暗礁に乗り上げたことになり、詰められた政府の悪あがき以外の何ものでもない。

**米軍ヘリ部隊帰還弾劾 普天間基地を撤去しろ**

4月1日、イラクに派兵された米軍ヘリ部隊が普天間基地に帰還した。この部隊は第31海兵遠征隊(31MEU)の航空戦闘部隊の主力である。在沖海兵隊司令官の発表によれば、31MEUは、アンバル州への展開行動中に「おびただしい反対分子、テロリスト、外国戦闘員を捕獲、殺害した」という。まさに普天間基地での訓練は、空からの無差別攻撃・非戦闘員の虐殺をもたらしたのだ。当日は、官野市市長の伊波洋一さんも参加して、普天間基地ゲート前で帰還抗議集会が行われ、怒りのシュプレヒコールが叩きつけられた。

東京では、4・16沖縄に新しい米軍基地はいらない集会(午後1時30分、上野水上音楽堂集合・デモへ。3時30分より同会場にて集会とコンサート。呼びかけは辺野古の海上基地建設・ボーリング調査を許さない実行委員会)へ向け、4月3日には花見客で賑わう上野駅前で大々的に情宣が行われ、4月6日には、同実行委と系数慶子議員で外務省交渉が勝ち取られた。出席した外務省北米局長・日米地位協定室事務官は、新基地建設見直しについて「(総理の)指示は出ていない。日米安保による抑止力の維持と地元負担の軽減は二つの柱」と官僚答弁に終始したが、系議員や実行委メンバーからの追及に「どうもこうもなってしまう。さらに外務省・防衛庁・防衛施設庁への追及の手を緩めず、沖縄現地の不屈の闘いと結び、反戦のうねりを普天間基地撤去・新基地建設阻止へ!



3・27三里塚全国総決起集会

**3-26 戦争と治安に反対 シンポジウム**

3月26日、「戦争と治安管理に反対するシンポジウム」が開催された。主催は、語大教授の「抵抗とテロリズム」イラク・パレスタナ人民の苦難から」と題した講演が行われた。

続く分科会では、①共謀罪と「テロ」包括法の狙いについて、米国の「愛国者」法を対案化しながら、②エスカレートする治安警察の成立阻止、③反治安法・反弾圧の戦線の拡大を目標とする呼びかけられ実現したものだ。会場の東京・豊島区民センターには210名が集まり、4つの分科会と全体集会で提起と討論がなされた。

分科会に先立つ全体集会

**3-27 暫定滑走路「北延伸」を許すな! 三里塚全国闘争を勝ち取る**

3月27日、三里塚現地に於いて「暫定滑走路」北延伸の闘いも足かけ40年、闘いはこれから。暫定滑走路は延長させない」と開会宣言。主催者を代表して北原敏治さんは、「40年の闘いの中で勝利の展望が見え始めてきた。反戦の岩を守り抜く」とあいさつした。

3月26日、最高裁判所1小法廷(裁判長・島田二郎)は、狭山裁判特別抗告の第2次再審請求の特別抗告に対して棄却を決定した。この許しがたい暴挙を徹底して弾劾する。この再審請求では弁護団が、①脅迫状と石川さんの筆跡は明確に異なることにも関わらず、

その後の全体集会では、「イラク・改憲・共謀罪」をテーマに、藤田進さんの足立昌勝さん(関東学院大教授・刑法)、菅沼弘志さん(静岡大助教授・憲法)をパネラーにシンポジウムが行われ、連帯アピールを経て決議文を確認して終了した。

実調をもつて再審に道を開くべき根拠を提示した。にもかかわらず最高裁は弁護側の主張をことごとく退け、「これを改めて再審事由として主張することには不合法である」と非道にも棄却決定を下した。弁護団と部族解放同盟はただちに緊急抗議声明を発し、完全無罪まで闘うことを表明した。石川一雄さんは記者会見で、「これほど怒りをもったことはありません」「えん罪が晴れるまではことごとく闘います」と、無念と悔しさの中で無実を晴らすまで闘う決意を述べた。不当逮捕から42年、第2次再審から18年、石川さんの苦闘を踏みにじる今回の最高裁の不当な決定を断じて許さず、狭山闘争勝利までと闘おう!

3月27日、三里塚現地に於いて「暫定滑走路」北延伸の闘いも足かけ40年、闘いはこれから。暫定滑走路は延長させない」と開会宣言。主催者を代表して北原敏治さんは、「40年の闘いの中で勝利の展望が見え始めてきた。反戦の岩を守り抜く」とあいさつした。

3月27日、三里塚現地に於いて「暫定滑走路」北延伸の闘いも足かけ40年、闘いはこれから。暫定滑走路は延長させない」と開会宣言。主催者を代表して北原敏治さんは、「40年の闘いの中で勝利の展望が見え始めてきた。反戦の岩を守り抜く」とあいさつした。

3月27日、三里塚現地に於いて「暫定滑走路」北延伸の闘いも足かけ40年、闘いはこれから。暫定滑走路は延長させない」と開会宣言。主催者を代表して北原敏治さんは、「40年の闘いの中で勝利の展望が見え始めてきた。反戦の岩を守り抜く」とあいさつした。

3月27日、三里塚現地に於いて「暫定滑走路」北延伸の闘いも足かけ40年、闘いはこれから。暫定滑走路は延長させない」と開会宣言。主催者を代表して北原敏治さんは、「40年の闘いの中で勝利の展望が見え始めてきた。反戦の岩を守り抜く」とあいさつした。